

間宮海峡発見200年祭

江戸時代後期、世界の海に乗り出したヨーロッパ諸国によって地球上の様子はほぼ解明されていました。しかし、の中で最後まで未踏の地であり不明だったのが樺太(カラフト)、すなわちサハリン北部の様子でした。樺太は大陸から突き出した半島なのか、島なのか……。この問題に決着をつけたのが間宮林蔵です。1808年(文化5年)、アイヌだけ



間宮海峡



を伴い単身、宗谷を出発して樺太に渡った林蔵は、樺太で一冬をすごした後、前年に松田伝十郎が目視していた海峡を横断、大陸デレンの地まで足を伸ばし、樺太が島であることを確認しました。この林蔵の踏査を、後にシーボルトが世界に紹介。樺太と大陸との間の海峡は「間宮之瀬戸(間宮海峡)」として世界に知られることになりました。また、林蔵の探検は、北方におけるロシアと中国、日本の勢力範囲を解明する手がかりとなるとともに、北方に生きる人々の様子を現代に伝える貴重な資料ともなりました。

間宮林蔵が出発した稚内市では、「間宮海峡発見200年」を記念して、この最北の地に足跡を残した先人たちが、ふるさとの歴史・文化を振り返ることにより、これからの地域づくりの第一歩にすべくさまざまな行事を開催します。ロシア、中国大陸に開かれた海、厳しい立地条件、自然環境を克服して歩んできた先人たちの知恵と経験……。最北の地であり北の国々への玄関口である宗谷・稚内だからこそ育まれる無限の可能性と豊かな人間性を再発見してみませんか？

見る

間宮林蔵展

間宮林蔵の足跡を中心に、北蝦夷地(樺太)探検の歩み、稚内・樺太の歴史と文化を紹介。明治時代、樺太に設置された日露国境標石と国境標石を設置する貴重な記録写真も展示。

【会期】2009年6月20日(土)～10月18日(日)

【会場】稚内市開基百年記念塔・北方記念館



間宮林蔵の立像と日本最北端の地碑(宗谷岬)



間宮林蔵渡樺の地

楽しむ、体感する

林蔵まつり 7月12日(日)

稚内港北防波堤ドーム

宝さがし「記念撮影ラリー」

～間宮林蔵をさがせ～ 7月～9月3か月間

林蔵ウォーク in わっかない

期間中3回程度開催

稚内の記念碑めぐり 月1～2回開催

宗谷いろはカルタづくり

期間中募集

間宮林蔵の測量体験

期間中月1回 他



津軽藩兵結合の記念碑

北海道地域創造フォーラム

記念講演に作家・童門冬二氏を迎え、稚内に縁のある首長が一堂に会して、地域の歴史・文化を再発見し、これからのまちづくりを語りあいます。

【日時】2009年7月18日(土) 【会場】稚内総合文化センター

間宮海峡発見200年記念歴史シンポジウム

林蔵の記録した北方先住民族資料を題材に、北方史の謎に迫るシンポジウム。サハリン州立郷土誌博物館長も参加。

【日時】2009年9月5日(土) 【会場】稚内総合文化センター

冒険家フォーラム

間宮海峡を渡った日本の冒険家たちが一堂に会し、探検の意義、苦勞、魅力を語りあいます。

【日時】2009年10月10日(土)

【会場】稚内総合文化センター



宗谷

学ぶ

お問い合わせ先●稚内市観光交流課 稚内市メモリアル事業(間宮海峡発見200年記念事業)

〒097-8686 北海道稚内市中央 3-13-15 TEL:0162-23-6468 FAX:0162-23-7999